

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2021年（令和3年）8月25日

8月14日夜、高気圧の谷間の前線による大雨で警戒レベル3となり、川路自主防災本部と各区の本部が開設され、夜11時にはレベル4となり、天竜川の水位も上昇しており、緊張した時間が流れました。幸い天龍峡姑射橋下の基準点で、深夜の水位13.9mをピークに下がり始め、ほっとしましたが、過去の58災のピーク水位19.8mに迫る58災以降6番目の水位となりました。かわらんべの河川敷（菜の花畑）は泥の海と化し、越流堤（現遊歩道）近くまで浸水しておりました。夜天龍峡姑射橋の水量を見に行きましたが、息子に厳しく叱られました。現在はライブカメラが有り、スマホでいつでも天龍峡姑射橋とかわらんべ周辺の状況を見る事が出来ます。危険を冒して夜中に実際に見に行く必要は有りません。反省大です。ところで、川路に関する治水計画は、昭和48年に改定されました天竜川水系工事計画で、①基準点天龍峡の基本高水ピーク水量を5,700 m<sup>3</sup>/s、②上流ダムによる洪水調節機能1,200 m<sup>3</sup>/s、③計画高水流量を4,500 m<sup>3</sup>/sと設定し、④その実現の為に河床改善700 m<sup>3</sup>/sを計画すると有ります。しかし、平成21年策定の天竜川水系河川整備計画で、当面30年の目標として、①基準点天龍峡の基本高水ピーク水量を5,000 m<sup>3</sup>/s、②上流ダムによる洪水調節機能1,000 m<sup>3</sup>/s、③計画高水流量を4,000 m<sup>3</sup>/sとする計画にトーンダウンしてしまっております。しかし最近温暖化の影響か、雨量が多くなり、川路の水害に関して心配の種が増えて来ておりますが、ハザードマップのレベル2では、川路の半数以上の家屋が水没する予想になっております。2日間で605mmの雨量が天竜川上流部に降った場合の被害想定ですが、天竜川上流河川事務所のレポートでは、一昨年千曲川氾濫の19号台風の雨が天竜川上流部に降った場合、2日間で513mmの雨量となり、ハザードマップのレベル2に近い値（約8割）となるそうです。この事実を踏まえ、昨年天竜川河川整備計画を見直すとの見解がホームページに記載されました。そこで、36災60年を機に、川路の治水に関して勉強し直そうと、天竜川上流河川事務所に質問状をお送りして説明会の設定をお願いしました。9月初旬にはまちづくり役員と水防組合役員がお伺いし、説明会を開催して頂く予定です。上流のダムの洪水調節能力の改善状況、戸草ダムの状況、天龍峡のしゅんせつ進行状況、ハザードマップレベル2設定時の条件等も合わせてお聞きして来たいと考えております。



天龍峡姑射橋上流側



天龍峡姑射橋よりかわらんべ方面



浸水しているかわらんべ河川敷

## タウンミーティング（各区懇談会）延期となります

8月23日から予定をしておりましたタウンミーティングですが、新型コロナの警戒レベルが「5」に上がりましたので、2区～8区まで全ての区の懇談会日程を延期させていただきます。今後の日程は警戒レベルの推移を見ながら、改めてご案内致しますので、宜しくお願い致します。今回のタウンミーティングのメインテーマは川路土地利用計画です。既にお配りしました資料のご説明と皆様のご意見をお伺いすることが中心になります。お忙しい時期ではありますが、是非各戸配布されました資料をご一読頂き、ご感想、ご意見、ご提案を懇談会の中でお話しして頂きたいと宜しくお願い致します。

## 天龍峡をどりが中止と決まりました

新型コロナの警戒レベルが「3」以上の場合は中止と決まっておりましたので、本年の天龍峡をどりは中止と決まりました。復活した龍峡小唄を踊る「天龍峡をどり」もこれで2年続けて中止となってしまいました。皆で龍峡小唄を踊りながら、天龍峡の伝統を楽しみたいと期待をしておりましたが、大変残念です。来年は盛大に「天龍峡をどり」を開催し、地域の伝統を守り育てて行きたいものです。



## 9月5日の防災訓練は、電話での安否確認訓練に変更します。

地震が発生したら、まず「ダンゴ虫」の姿勢をとって、落下物から身を守り、近くの一時（いっとき）避難所に避難し、隣組の方の安否を確認する。避難して来ない人がいたら、その家まで行って安否を確認する。これが今までの避難訓練の実施手順でしたが、今年から少し変えます。**隣組の方の安否確認は、外出している方から伍長さんに携帯電話で無事である旨連絡して頂くこととなります。**避難訓練当日外出されている方、又は都合により避難できない方は、電話で状況を伍長さんに連絡して頂く様をお願い致します。その為に、伍長さんは、ご自分の携帯電話番号を伍組の皆さんに事前に教えて頂く様をお願い致します。実際の地震、洪水の場合、安否確認が大変重要になりますが、一昨年の千曲川堤防決壊の時、長沼地区でも大変苦労したと36災害60年式典の講演で説明が有りました。川路まちづくり委員会では、本年度より「**災害時、伍組の皆さんから伍長さんに安否の連絡をする方法**」を定着させる様に進めて参ります。コロナ警戒レベルが「5」となり、**飯田市全体の訓練は中止となりますが、川路地区は、安否確認訓練を電話で行います。**具体的方法は各区から案内があります。ご協力を宜しくお願い致します。

## 菜の花畑が泥に浸かってしまいました

8月の大雨でかわらんべ河川敷は泥の海となりましたが、水が引いた後はしっかり泥が残ってしまいました。盆前に「川路菜の花愛護会」の皆さんによる草刈りが行われ、その後沢山の菜の花の芽が出て喜んでおりましたが、残念ながら9月に種を撒かなくてはならなくなりました。しかし、この泥により頑固な雑草も弱まりますので、逆に来年は綺麗な菜の花が沢山咲く事が期待できるとの嬉しい見解もありました。来年を楽しみに待ちたいと思います。



泥に浸かったかわらんべ河川敷